



園バスの添乗で鳩山の様々なところを走っていると、緑から黄色、茜、臙脂、茶、複雑な色のグラデーションで、今年は紅葉が例年以上にきれいだと感じました。それも次第に散っていき、秋から冬へと移り変わっていきました。園庭の木も順々に紅葉し風に散って、今は、黄色いイチョウの葉の絨毯になっています。11月は暖かい日が続いていましたが、師走に入りいっきに冬が訪れた感じです。

さて、園では12月17日の「お楽しみ会(発表会)」に向けての準備が進んでいます。毎年様々な工夫をして取り組んでいます。今年も楽しみにお待ちください。



にこ顔お楽しみ会 歌の練習

実体験に勝るものは無し

触ったり見上げたり(5月)→



早いものでもう12月。ふり返ってみれば、コロナ禍で行動が制限される中、地域の皆様のご理解・ご協力のもといろいろな体験活動を行うことができました。

特に初めてチャレンジしたのものとして、5月には、教育長さん宅の竹林を散策し、見たり触ったりしたことで様々な気づきがあり、竹の子(ども)の絵、竹の子の断面を使ったスタンプ絵などに広げていくことができました。(子供たちは感じたまま一気に竹の絵を描き上げました。) その後は送迎バスからの見慣れた景色の中に竹林を見つけ、子供なりに心に残った体験のふり返りを楽しんでいました。6月からは、大豆戸の清水さんのご協力、長いスパンでの『田んぼ体験』が始まりました。初めて入った田んぼに個々の子供たちの感想は様々で「あたたかくて気持ちよかった。」「気持ち悪かった。」「冷たかった。」また、ご飯になって食べられることに期待する声などもありました。途中、イネの生長を見に行ってから稲刈り体験。刈り取った(切った)イネの一部を天日に干して、粳摺りし玄米まで自分たちでやってみました。そしていよいよ玄米と白米の食べ比べ。子供たちの喜びはマックスになったようです。さらに11月に田んぼ跡を見てから清水さん宅を訪ねお礼の言葉と気持ちを伝えました。

どんなに高性能で美しいデジタル画像で竹林や竹の生える様子を見せても、子供たちは勢いのある竹の絵を描くことはできないし、田植えや稲刈りの映像を何度見せたとしても、田んぼに入った感触や玄米と白米を食べ比べた味や食感の違いは分からない。一回の実体験に勝ることはできないと考えています。まだ抽象的な思考が難しい幼児期での実体験は大切であり、こういった五感を通じた体験は子供たちの心に響き、やがて豊かな想像力が子供たちの中に生まれてくると確信しています。

<お家の方から・・・栽培活動を中心とした感想(2学期)>

- ・「アブラムシ知ってるよ!」と以前よく話してくれました。以前幼稚園で採らせてもらったニンジンが生で食べたいと言って初めて人参スティックで食べておいしかったようです。
- ・夏にはキュウリやナスを自分の包丁やまな板を使って楽しそうに調理していました。ポップコーンがはじける様子や香りなども詳しく教えてくれました。
- ・いつも口にしてのお米(ご飯) どうやお米がなるのか、お米がどこに入っているのか、どうやって収穫されるのか、体験を通して知ることができるとても貴重な時間を過ごせていると感謝しています。何気なく食べているけど一粒がとても長い時間をかけて実っている。だから大事に残さず食べようと話したこともあります。
- ・田んぼの中は足が抜けなくなるみたいでちょっと怖かったみたいです。先生が炊いてくれたお米はめっちゃおいしかったようです。
- ・初めて田んぼの中に入ってとても気持ち悪かったみたいです。でも、採れたお米は甘くてすごく美味しかった様子でした。サツマイモはあまり好きではなかったのですが、自分で採った物は美味しいらしくたくさん食べました。
- ・自然に触れながらお友達や先生方と一緒に楽しみ、様々なことを学べることは素敵な体験だと思います。
- ・イモ掘りや田んぼ体験を終えた日はバスから降りて玄関までの数十メートルずっと話しています。「一番大きいお米をほったんだよ!」「田んぼに裸足で入ったんだけどやわらかくて気持ちよかった」と、どれも楽しそうにお話してくれるので貴重な体験をさせてもらっていることが実感でき親としてうれしいです。
- ・とって来たサツマイモをお弁当に入れたらすごく喜んでいました。
- ・サツマイモ掘りでは自分が掘ったんだという気持ちが余ほど嬉しかったのか、「(私が)掘ったお芋おいしい?」と聞いてきて「すごくおいしいよ!」という「良かったー!」と笑顔が返ってきました。いつもよりたくさんお話をし、楽しい時間になりました。
- ・初の玄米を食べてかたいけどおいしかった。と言っていました。食育は生きていくために必要なもので(これからも)お願いします。
- ・娘は白米だけでは食べません。そのまま食べてみなさいと送り出しました。帰ってから感想を聞くと美味しかった!玄米も食べた!とのことで、また、新たな成長を感じてうれしく思います。

活動の流れ <12月>

時期	さくら組	にじ組
12月上旬	<p><お楽しみ会に向けて></p> <ul style="list-style-type: none"> お話の役になって遊び、歌を歌う。 オペレッタのダンスをみんなと一緒に踊ったり、役に分かれて踊ったりする。 	<p><お楽しみ会に向けて(劇)></p> <ul style="list-style-type: none"> 劇の役割分担を話しあって決めて練習する。 お楽しみ会に向けて大道具や小道具等必要な物を作る。 <p><お楽しみ会に向けて(歌)></p> <ul style="list-style-type: none"> 歌を覚えて歌う。
中旬	<ul style="list-style-type: none"> オペレッタや歌に必要な物を作る。 舞台でのオペレッタのすすめ方や並び方、舞台への出入りの方法を知っている。 	
下旬	<p>友だちや年長組の前で演技する。 お楽しみ会に参加する。 もちつき大会に参加する。 2学期終業式に参加する。</p>	<p>友だちや年少組の前で演技する。 お楽しみ会に参加する。 もちつき大会に参加する。 2学期終業式に参加する。</p> 

【幼稚園で出来る「ESD (持続可能な開発のための教育)」の取り組み】

田んぼの跡地はすっかり耕されていました 清水さんに感謝の気持ちを渡しました

11月のESD

ESD まだまだ続きます

ありがとうございました!

11月7日(金)

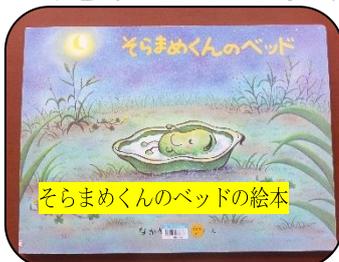
子供たちが稲刈り体験した田んぼ跡がどうなっているか見にいきました。次は麦をまくということですっかり耕されていました。その後、田んぼ体験でお世話になった清水さんのお宅に行ってお子たちの「手作り色紙」を渡しに行きました。とても喜んでくれました。



<子供たちの作った色紙> 他に、田植えと稲刈りの集合写真と活動の記録のまとめを渡しました。

今年の園内研修の内容を“幼稚園で出来るESD”とし、広義な意味で、持続可能に発展していく活動として、体験(実践)を通して取り組んでいます。これら幼稚園での体験は小学校での学習(生活科、総合的な学習、社会、図工など)に繋がっていますし、長い目・広い目で見れば、日本の自然や農業、環境にもつながっていくのではないかと思います。幼稚園は子供たちの実態や教師・保護者・地域の願いや思いを繋げて教育課程を組み立てることが出来ます。今後も深め広がり発展していく体験活動を教育課程に組み入れていきたいです。

<ピジョっこファームだより>



そらまめくんのベッドの絵本



種まきの前に読み聞かせ



一人一人丁寧に種まき



本葉が出たよ

* 昨年に引き続きソラマメの種をまいたよ * 11月18日

さくら組がソラマメの種をポットにまきました。種まきがだいぶ遅くなりました。かなりギリギリです。本葉が育つか心配です。子供たちが本物の「そらまめくんのベッド」を見られるといいなあと思います。

ソラマメは年度をまたいだ栽培となります。難易度の高い栽培となりますが、今度は収穫量が増えるようにがんばりたいと思います。

<11月のピジョッコフォト> *お店屋さん特集*



どんな商品を出すかの話し合い



たくさん商品ができました



いらっしゃいませー!



これください。

11月4日(金) 前日3日 文化の日のステージでの出演もあり、その練習と並行して準備した「お店屋さん」すごく美味しそうなお菓子やラーメン、素敵なアクセサリーなどたくさんの商品を作りました。さくら組やひよこ組のみんながたくさん買ってくれました。商品が完売になり、がらんとしたホールでお弁当を食べているにじ組からは、きっと達成感もあったと思いますが、何となく終わってしまった哀愁も漂っていました。



お店さんが終わってホッとしてお弁当

がら〜ん



さくら組もお店屋さん

後日、さくら組も商品を作ってお礼ににじ組を招待してお店屋さんをしました。繋がっていきます。



みんな絵本大好き

11月10日 図書館訪問

今年も山村短大の“ヨーフラヨーフラ”に招待されました。不思議ワールドを体験してきました。



焼き芋をしました



○幼稚園の畑で掘ったサツマイモの絵を描きました。何か行事をする時には環境構成として絵本を活用します。
○焼き芋をしました。
○サツマイモの蔓でリースを作りました。

【クリスマス月の準備】



田んぼでお世話になった清水さんがタヌキを見せてくれました。プルプルと震えていたところがアライグマと違って在来種らしくかわいかったです。珍しい白いタヌキでした。



タヌキを見せてくれました



自転車乗り

さくら組

にじ組は全員が自転車に乗れるようになりました。さくら組もかなり乗れるようになりました。幼稚園にいるうちに全員乗れるようになると思いますね。



今年はピオラ

<一人一鉢のお願い>
今年も冬の間“一人一鉢”をお願いします。鉢は卒園式に式場に飾ります。お楽しみ会の時に持って帰ってもらう予定です。後日また連絡します。

【ミニ情報】*****

11月30日は「絵本の日」だそうです。瀬田貞二さんという方の『絵本論』が1986年11月30日に出版され、それにちなんで2012年に「絵本の日」として認定されたそうです。瀬田さんは、今度さくら組がお楽しみ会でやるオペレッタ『三匹のやぎのがらがらどん』の翻訳をした方で、とても著名な作家・評論家・翻訳家だそうです。さて、さくら組の「がらがらどん」はどんな「がらがらどん」になるでしょう。

み～んな！げんき！



さくらぐみ



ピジョっこ学級通信 12月号

『元気な声がさくら組にひびいています！』

さくら組担任 窪田 幸恵

「先生、おはようございます！」ここ最近では、バスから降りてくると気持ちの良い挨拶を自分からしてくれる子が、日に日に増えてきています。2学期も後半に入り、自分の好きな遊びを見つけて園生活を楽しめるようになってきていることが、園での生活の自信につながってきているさくら組です。

【自転車にチャレンジ！】

にじ組さんがスイスイと乗る姿に憧れて「乗ってみる」とチャレンジする子が増えています。乗ってみたい気持ちはあっても、まだドキドキする気持ちの方が大きい子もいるので、一人一人のタイミングをみながら少しずつ誘っていきたいと思います。

【ごっこ遊びを楽しんでいます！】

園庭に出て、ジャングルジムや職員室前の遊具をお家やお城に見立て、友達を誘って「お姫様ごっこ」などをして楽しく遊んでいます。最近では、にじ組の友達もごっこ遊びにまじることが増え、たくさんの友達と一緒に遊ぶ楽しさも味わっています。



【劇遊び🎵なりきっています！】

お楽しみ会に向けて「三びきのやぎのがらがらどん」の劇遊びを毎日楽しんでいます。担任が絵本を読んだり、オペレッタ（音楽劇）の音楽を流したりしながらイメージを広げていきます。段々と子供たちの中からも歌詞を口ずさんだり、こわ～いトロールになりきって体を動かしたりする子が出てきました。そこで皆で一緒に踊ってみることに…。かわいいやぎになりきる子、強そうなやぎになって思い切り踊る子、恐ろしい表情になってトロールになりきる子など、お話の世界に入って表現することを楽しむ様子がたくさん見られました。今は、本番でどの役をやりたいか考え中です。「全部の役がやりたい！」とそんな声も聞こえてきていて、皆やる気満々です。どんな劇になるのでしょうか！どうぞ楽しみにしててください。



にじいろ

「自信満々のにじ組！お楽しみ会も頑張るぞ！」 にじ組担任 田畑 瞳

はとやま祭への参加ご協力、ありがとうございました。たくさんのお客さんの前で堂々と表現するにじ組さんは、とてもとてもかっこよかったです。そして、次の日に行われたお店やさんごっこでは、最初は緊張した表情を見せながらも、さくら組やひよこ組さんがたくさんお買い物に来てくれて、「いらっしやいませ！！」の声もだんだんと大きくなり、「少々お待ちください。」「こちらを先にお渡ししますね。」とまるで本物のお店やさんのように、接客の声もとても上手でした。頑張った2日間を終え、みんなは達成感に満ちた表情でした。運動会やはとやま祭、お店やさんごっこを終え、一人一人に自信がついたように感じます。友達同士への声かけも多くなり、その声はますます元気いっぱいです。先日は、好きな遊びの時間に、友達同士誘い合って、ペダルローラーを始めていました。仲良く顔を見合わせ楽しそうに進んでいきます。すると、一人の子が自分の漕いでいたペダルローラーをしまっ、友達に手を支え手伝ってあげていました。ますます友達との仲が深まっているにじ組です。

そんなにじ組さんは、お楽しみ会でするお話も決まり、毎日「セリフは何て言おうか」「どんなふうに動こうか」「どんなものが必要な？」とみんなで話し合いながら進めているところです。どんな劇になるのか、みんなでワクワクしながら、頑張っていきたいと思います！

